



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月2日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
 ファイナンス部長
 四半期報告書提出予定日 2023年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	246,541	9.1	15,910	30.7	17,994	37.6	12,992	24.8
2022年12月期第3四半期	225,933	—	12,170	△24.8	13,072	△26.3	10,412	△16.9

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 25,741百万円 (12.4%) 2022年12月期第3四半期 22,908百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	204.31	—
2022年12月期第3四半期	162.39	—

(注) 2022年12月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、2022年12月期第3四半期連結累計期間の売上高において、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	401,785	265,407	65.9
2022年12月期	369,056	244,760	66.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 264,867百万円 2022年12月期 244,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2023年12月期	—	40.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	332,000	9.2	17,000	32.3	19,500	42.9	13,500	66.7	212.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	68,468,569株	2022年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	4,878,408株	2022年12月期	4,877,747株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	63,590,496株	2022年12月期3Q	64,117,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間の期首より組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。このため、前年同期数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えて比較分析を行っております。

当第3四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進みました。一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、急激な為替変動等の影響が懸念され、また、世界的な金融引締めによる景気の下振れリスクが生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、全てのセグメントで前年同期を上回ったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は246,541百万円となり、前年同期（225,933百万円）に比べ9.1%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率は、海外事業における中国で低下したこと等により前年同期に比べ0.3ポイント低下しました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、販売促進費等が増加しました。

その結果、営業利益は15,910百万円となり、前年同期（12,170百万円）に比べ3,739百万円の増益となりました。経常利益は営業利益段階での増益や為替差益等により、17,994百万円となり、前年同期（13,072百万円）に比べ4,921百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,992百万円となり、前年同期（10,412百万円）に比べ2,580百万円の増益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円、%)

セグメント	売上高				営業利益			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率(%)
健康・食品事業	37,319	39,165	1,845	4.9	2,576	2,281	△294	△11.4
乳業事業	50,933	53,431	2,497	4.9	1,293	1,230	△62	△4.9
栄養菓子事業	40,219	42,185	1,965	4.9	3,171	3,996	824	26.0
食品原料事業	8,322	9,928	1,606	19.3	971	1,878	906	93.2
国内その他事業	46,677	50,069	3,392	7.3	871	1,837	965	110.7
海外事業	42,462	51,761	9,299	21.9	798	3,506	2,707	339.1
調整	—	—	—	—	2,486	1,180	△1,306	△52.5
合計	225,933	246,541	20,607	9.1	12,170	15,910	3,739	30.7

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等です。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<健康・食品事業>

売上面では、「DONBURI亭」「カレー職人」等は前年同期を下回りましたが、「パピコ」「アイスの実」等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は39,165百万円となり、前年同期（37,319百万円）に比べ4.9%の増収となりました。

利益面では、広告宣伝費の増加等により、営業利益は2,281百万円となり、前年同期（2,576百万円）に比べ294百万円の減益となりました。

<乳業事業>

売上面では、“牧場しぼり”“朝食りんごヨーグルト”等は前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイズ”“ジャイアントコーン”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は53,431百万円となり、前年同期（50,933百万円）に比べ4.9%の増収となりました。

利益面では、広告宣伝費の増加等により、営業利益は1,230百万円となり、前年同期（1,293百万円）に比べ62百万円の減益となりました。

<栄養菓子事業>

売上面では、“チーザ”“神戸ローストショコラ”等は前年同期を下回りましたが、“ポッキー”“プリッツ”等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は42,185百万円となり、前年同期（40,219百万円）に比べ4.9%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は3,996百万円となり、前年同期（3,171百万円）に比べ824百万円の増益となりました。

<食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」「澱粉」等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,928百万円となり、前年同期（8,322百万円）に比べ19.3%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は1,878百万円となり、前年同期（971百万円）に比べ906百万円の増益となりました。

<国内その他事業>

売上面では、卸売販売子会社の売上高、「オフィスグリコ」等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,069百万円となり、前年同期（46,677百万円）に比べ7.3%の増収となりました。

利益面では、増収及び売上原価率の低下等により、営業利益は1,837百万円となり、前年同期（871百万円）に比べ965百万円の増益となりました。

<海外事業>

売上面では、地域別において、中国、ASEAN、米国等で前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は51,761百万円となり、前年同期（42,462百万円）に比べ21.9%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は3,506百万円となり、前年同期（798百万円）に比べ2,707百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明**資産**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は401,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ32,729百万円増加しました。流動資産は195,455百万円となり、17,287百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が増加したことによるものであります。固定資産は206,329百万円となり、15,441百万円増加しました。主な要因は、ソフトウェア仮勘定、投資有価証券等が増加したことによるものであります。

負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は136,378百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,082百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、返金負債等が増加したことによるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は265,407百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,647百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により5,087百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益12,992百万円を獲得したこと及び為替換算調整勘定が7,553百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は65.9%（前連結会計年度末比0.3ポイント低下）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年8月3日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月2日）公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」並びに「決算短信補足説明資料」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	91,705	97,611
受取手形及び売掛金	45,372	51,816
有価証券	226	—
商品及び製品	17,861	18,936
仕掛品	891	1,135
原材料及び貯蔵品	14,093	15,243
その他	8,130	10,815
貸倒引当金	△113	△102
流動資産合計	178,168	195,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,225	40,733
機械装置及び運搬具（純額）	34,538	37,158
工具、器具及び備品（純額）	4,702	5,102
土地	15,984	16,130
リース資産（純額）	2,161	2,534
建設仮勘定	11,426	11,381
有形固定資産合計	110,038	113,041
無形固定資産		
ソフトウェア	4,401	3,822
ソフトウェア仮勘定	16,746	19,921
のれん	352	337
その他	181	158
無形固定資産合計	21,682	24,240
投資その他の資産		
投資有価証券	39,265	48,053
退職給付に係る資産	4,432	4,636
投資不動産（純額）	12,214	12,235
その他	3,295	4,179
貸倒引当金	△39	△56
投資その他の資産合計	59,168	69,048
固定資産合計	190,888	206,329
資産合計	369,056	401,785

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,430	42,270
未払費用	24,789	24,852
未払法人税等	2,562	3,362
返金負債	7,256	9,074
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	30,007
役員賞与引当金	73	—
その他	8,762	9,978
流動負債合計	79,875	119,545
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,023	—
退職給付に係る負債	1,350	1,497
繰延税金負債	6,633	8,699
その他	6,414	6,635
固定負債合計	44,421	16,832
負債合計	124,296	136,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,894	9,894
利益剰余金	217,184	225,090
自己株式	△13,806	△13,809
株主資本合計	221,046	228,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,945	15,258
繰延ヘッジ損益	△59	891
為替換算調整勘定	11,756	19,310
退職給付に係る調整累計額	602	458
その他の包括利益累計額合計	23,245	35,918
非支配株主持分	468	539
純資産合計	244,760	265,407
負債純資産合計	369,056	401,785

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	225,933	246,541
売上原価	142,577	154,794
売上総利益	83,356	91,746
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	20,475	19,681
販売促進費	6,297	7,429
広告宣伝費	6,893	8,592
給料及び手当	13,891	15,071
退職給付費用	205	315
その他	23,421	24,744
販売費及び一般管理費合計	71,185	75,835
営業利益	12,170	15,910
営業外収益		
受取利息	324	432
受取配当金	405	327
為替差益	—	275
持分法による投資利益	357	731
補助金収入	423	343
不動産賃貸料	398	452
その他	564	828
営業外収益合計	2,473	3,391
営業外費用		
支払利息	62	60
寄付金	51	609
為替差損	245	—
投資事業組合運用損	143	275
固定資産除却損	157	53
固定資産廃棄損	266	10
債務保証損失	123	—
その他	520	298
営業外費用合計	1,571	1,307
経常利益	13,072	17,994
特別利益		
持分変動利益	—	400
投資有価証券売却益	3,519	16
特別利益合計	3,519	416
特別損失		
減損損失	—	248
投資有価証券評価損	—	35
子会社清算損	—	30
新型コロナウイルス感染症による損失	645	—
特別損失合計	645	314
税金等調整前四半期純利益	15,946	18,096
法人税、住民税及び事業税	6,339	5,249
法人税等調整額	△844	△196
法人税等合計	5,495	5,052
四半期純利益	10,450	13,043
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,412	12,992
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	51

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△368	4,313
繰延ヘッジ損益	809	951
為替換算調整勘定	11,420	6,834
退職給付に係る調整額	△182	△144
持分法適用会社に対する持分相当額	779	743
その他の包括利益合計	12,458	12,698
四半期包括利益	22,908	25,741
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,855	25,665
非支配株主に係る四半期包括利益	53	75

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、この変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年1月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	37,319	50,933	40,219	8,322	46,677	42,462	225,933	—	225,933
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,319	50,933	40,219	8,322	46,677	42,462	225,933	—	225,933
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	173	8,685	—	8,858	△8,858	—
計	37,319	50,933	40,219	8,495	55,362	42,462	234,792	△8,858	225,933
セグメント利益又は損 失(△)	2,576	1,293	3,171	971	871	798	9,683	2,486	12,170

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,486百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,221百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,265百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	健康・ 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計		
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	39,165	53,431	42,185	9,928	50,069	51,761	246,541	—	246,541
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	39,165	53,431	42,185	9,928	50,069	51,761	246,541	—	246,541
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	231	8,141	—	8,372	△8,372	—
計	39,165	53,431	42,185	10,159	58,211	51,761	254,914	△8,372	246,541
セグメント利益又は損 失(△)	2,281	1,230	3,996	1,878	1,837	3,506	14,729	1,180	15,910

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1,180百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,481百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△301百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い報告セグメントを従来の「菓子・食品部門」「冷菓部門」「乳業部門」「食品原料部門」「海外部門」から、「健康・食品事業」「乳業事業」「栄養菓子事業」「食品原料事業」「国内その他事業」「海外事業」に変更しております。なお、これらのセグメント変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。

決算短信補足説明資料

-23年12月期 第3四半期決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	22/12期 (1月-9月)	23/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	225,933	246,541	20,607	9.1
営業利益	12,170	15,910	3,739	30.7
経常利益	13,072	17,994	4,921	37.6
当期純利益	10,412	12,992	2,580	24.8

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期		23/12期	
	(1月-9月)	売上比(%)	(1月-9月)	売上比(%)
売上高	225,933	100.0	246,541	100.0
売上原価	142,577	63.1	154,794	62.8
売上総利益	83,356	36.9	91,746	37.2
運賃保管料	20,475	9.1	19,681	8.0
販売促進費	6,297	2.8	7,429	3.0
広告費	6,893	3.1	8,592	3.5
人件費・厚生費	22,648	10.0	23,634	9.6
経費・償却費	14,869	6.6	16,497	6.7
販売費及び一般管理費	71,185	31.5	75,835	30.8
営業利益	12,170	5.4	15,910	6.5

営業利益の増減要因	対22/12期 (1月-9月)	
	対22/12期	内 国内
①売上高増減による増減益	8,619	4,489
②原材料価格変動による増減益	▲ 5,643	▲ 5,769
③原価のその他変動による増減益 *	3,548	4,700
④運賃保管料比率変動による増減益	2,661	940
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	▲ 2,831	▲ 1,650
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 2,615	▲ 1,678
合計	3,739	1,032

* 販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3)セグメント別売上高の状況

単位：百万円

		22/12期 (1月-9月)	23/12期 (1月-9月)	前年同期比	
				金額	増減率(%)
健康・食品事業	健康	9,663	9,616	▲ 46	-0.5
	アイスクリーム	14,999	17,614	2,615	17.4
	その他	12,657	11,934	▲ 723	-5.7
	計	37,319	39,165	1,845	4.9
乳業事業	発酵乳	9,371	9,100	▲ 271	-2.9
	アイスクリーム	20,786	22,755	1,969	9.5
	その他	20,776	21,575	799	3.8
	計	50,933	53,431	2,497	4.9
栄養菓子事業	チョコレート	21,851	23,035	1,184	5.4
	ビスケット	14,448	14,734	286	2.0
	その他	3,919	4,415	495	12.6
	計	40,219	42,185	1,965	4.9
食品原料事業		8,322	9,928	1,606	19.3
国内その他事業		46,677	50,069	3,392	7.3
海外事業		42,462	51,761	9,299	21.9
合計		225,933	246,541	20,607	9.1

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

	22/12期 (1月-9月)	23/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,576	2,281	▲ 294	-11.4
乳業事業	1,293	1,230	▲ 62	-4.9
栄養菓子事業	3,171	3,996	824	26.0
食品原料事業	971	1,878	906	93.2
国内その他事業	871	1,837	965	110.7
海外事業	798	3,506	2,707	339.1
調整	2,486	1,180	▲ 1,306	-52.5
合計	12,170	15,910	3,739	30.7

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

*以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。

また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	22/12期 (1月-9月)	23/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	829	1,073	244	29.5
営業利益	▲ 1	101	103	-

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-9月)	23/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	85	97	12	14.2
営業利益	▲ 4	▲ 5	▲ 0	-

※22年12月期3Qの実績は、23年12月期3Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	22/12期 (1月-9月)	23/12期 (1月-9月)	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	84	89	5	6.0
営業利益	18	18	0	0.5

※米国については、連結ベースの数字です。

連結業績予想

(1) セグメント別売上高の通期予想

単位：百万円

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
	実績	前回発表予想	今回修正予想	金額	増減率(%)
健康・食品事業	47,808	49,100	50,800	2,991	6.3
乳業事業	66,016	68,000	70,100	4,083	6.2
栄養菓子事業	57,847	59,200	60,800	2,952	5.1
食品原料事業	11,158	12,400	13,100	1,941	17.4
国内その他事業	61,189	63,600	65,000	3,810	6.2
海外事業	59,902	74,700	72,200	12,297	20.5
合計	303,921	327,000	332,000	28,078	9.2

(2) セグメント別営業利益の通期予想

単位：百万円

	22/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	23/12期 (1月-12月)	前年同期比	
	実績	前回発表予想	今回修正予想	金額	増減率(%)
健康・食品事業	2,044	1,900	1,900	▲ 144	-7.1
乳業事業	267	▲ 100	400	132	49.8
栄養菓子事業	4,751	5,200	5,800	1,048	22.1
食品原料事業	1,238	1,700	2,100	861	69.6
国内その他事業	906	1,800	2,000	1,093	120.6
海外事業	1,192	4,700	4,600	3,407	285.9
調整	2,445	800	200	▲ 2,245	-91.8
合計	12,845	16,000	17,000	4,154	32.3